保存版

AL-MANUAL

AL［アクティブ・ラーニング］ポイント認定制度
シラバス閲覧マニュアル

学生用

AL-MANUAL

YAMAGUCHI UNIVERSITY
山口大学

【ALポイント認定制度についての問い合わせ窓口】
YU-AP推進室（共通教育棟2階）
E-mail：yuap@yamaguchi-u.ac.jp

学生番号	
学部学科	
名　　前	

大学教育再生加速プログラム
YAMAGUCHI UNIVERSITY
山口大学

AL［アクティブ・ラーニング］ポイント認定制度 シラバス閲覧マニュアル【学生用】

ACTIVE LEARNING MANUAL

AL-MANUAL

ALポイント認定制度がはじまります。

新しくALポイント認定制度がはじまります。ALポイント認定制度とは、
授業時間内で、該当するアクティブ・ラーニングの形態が、どの程度行われているか
をポイント化して表示する制度です。
ALポイント認定制度の導入後には、これまでの履修登録画面や
WEBシラバス画面にALポイントが表示されるようになります。
これからは、単位数や授業計画などに加えて、ALポイントを参考にすることで、
より主体的な学修のための履修が可能になります。

【ALについて】

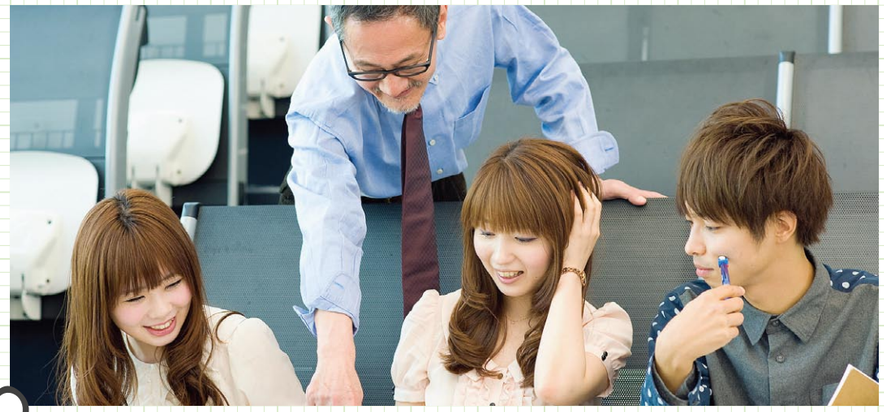
ALとはアクティブ・ラーニングの略称です。本学におけるALとは、「教員による一方的な講義形式の教育とは異なり、認知的、論理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図るため、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法（発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習等のほか、教室内でのプレゼンテーション、グループワーク等）を指し、その対象として、授業科目による正課教育だけでなく、授業外学修である正課外教育を含む。なお、授業科目においては少なくとも1コマ以上行うものとする。」としています。

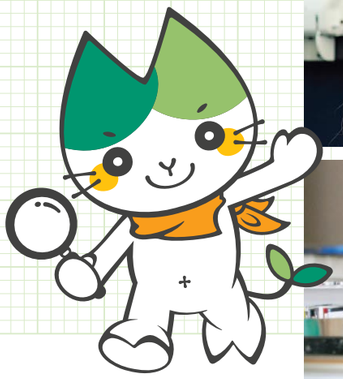
01
主体的な学びの促進に役立ちます。

WEBシラバス画面や履修登録画面にALポイントが表示され、授業で行われているALの頻度が見えるようになり、ALポイントが高いほど、ALの頻度が高いことがわかります。このように、ALポイントを明示し、履修の参考にすることで、アクティブ・ラーニングを通した、学生の主体的な学びが促進されることを趣旨としています。

ALポイント認定制度導入について

授業時間内でのアクティブ・ラーニングの度合をポイント化することで、教員と学生がアクティブ・ラーニングに関する認識を高め、大学教育に求められている主体的な学びの促進に役立てることができます。





02
ALポイントの算出方法について

ALポイントは、アクティブ・ラーニングの6つの形態「グループワーク」「ディスカッション・ディベート」「フィールドワーク（実験・実習、演習を含む）」「プレゼンテーション」「振り返り」「宿題」に設定されてあるAL度から算出されます。

具体的には、「グループワーク」「ディスカッション・ディベート」「フィールドワーク（実験・実習、演習を含む）」「プレゼンテーション」には、授業時間内におけるALが占める時間の割合を示す項目が設けられており、それぞれにAL度（【多】＝3点、【中】＝2点、【少】＝1点）が設定されています。「振り返り」と「宿題」には、それぞれ1点が設定されています。

アクティブ・ラーニングの形態	AL度		
グループワーク	【多】＝3点	【中】＝2点	【少】＝1点
ディスカッション・ディベート	【多】＝3点	【中】＝2点	【少】＝1点
フィールドワーク（実験・実習、演習を含む）	【多】＝3点	【中】＝2点	【少】＝1点
プレゼンテーション	【多】＝3点	【中】＝2点	【少】＝1点
振り返り	1点		
宿題	1点		

ALポイント ＝ ［AL（アクティブ・ラーニング）度の総和］ ÷ ［授業回数］

ALポイントの算出方法について

【授業各回のAL度の総和/授業回数】として、平均値化
（小数第一位まで表示、第二位以下四捨五入）として表示します。

03
これまでのシラバスとの違いについて

違い1 履修登録画面にALポイントが表示されるようになります。

違い2 WEBシラバス画面にALポイントが表示されるようになります。

授業で行われているアクティブ・ラーニングの頻度が見えるようになります。

教員と学生の双方が、アクティブ・ラーニングを意識することで、アクティブ・ラーニングがより行われ、大学教育に求められている主体的な学びが促進されます。

04 履修登録画面のイメージ

【ALポイント認定制度導入後における履修画面の変更点】

■ これまでの履修登録画面にALポイントの項目が追加されます。
■ ALポイントの項目は、「教員名」と「追加ボタン」の間に表示されます。
■ 注意 ALポイントを科目の単位数と間違えないようにお願いします。

履修登録画面に、その科目のALポイントが表示されます。

火 曜 2 限

	学部名	時間割コード	科目名	教員名	AL（アクティブ・ラーニング）ポイント		単位数	選択区分	定員	登録者数	備考
1	共通教育	後期前半 12345	○○学	教員 太郎	4.0	追加	1	選択			空きあり
2	共通教育	後期前半 12356	××入門	教員 太郎	5.2	追加	1	選択			空きあり
3	共通教育	後期前半 12323	□□概論	教員 太郎	3.3	追加	1	選択			定員充足

05 シラバス画面のイメージ

【ALポイント認定制度導入後におけるWEBシラバス画面の変更点】

■ WEBシラバスの最上部にある基本情報にALポイントの項目が追加されます。
■ ALポイントの項目は、授業区分の右に表示されます。
■ 注意 ALポイントを科目の単位数と間違えないようにお願いします。
■ WEBシラバス、中段にある「授業計画」の欄に【全体】、【週単位】に続いて、【ALポイント】の項目が追加されます。

授業区分の右に、その科目のALポイントが表示されます。

開講年度	開講学部等		
2015	共通教育		
開講学期	曜日時限	授業区分	AL（アクティブ・ラーニング）ポイント
前期	水7～8	講義	6.0ポイント

時間割番号	科目名［英文名］	単位数
1001050001	○○○○○学［○○○○○○○］	1

担当教員［ローマ字表記］
教員 太郎［ KYOIN Taro ］

授業科目区分		対象学生	教（学教（障害除く）・実践・情報）・経（221-）・2年次（教（学教（障害））3年次以上履修不可	対象年次	1～

授業計画

【全体】

【週単位】
※AL（アクティブ・ラーニング）欄に関する注
①A~Fのアルファベットは、以下の学習形態を指しています。
【A:グループワーク】、【B:ディスカッション・ディベート】、【C:フィールドワーク（実験・実習、演習を含む）】、【D:プレゼンテーション】、【E:振り返り】、【F:宿題】
②【多】、【中】、【少】は授業時間内におけるALが占める時間の割合を指しています。
【多】:授業時間の50%超、【中】:授業時間の15%～50%、【少】:授業時間の15%未満。「振り返り」と「宿題」については該当する場合に【あり】と表示されます。

	項目	内容	授業外指示	授業記録	AL（アクティブ・ラーニング）※ A	B	C	D	E	F
第1週					【中】	【中】	---	【少】	【あり】	---
第2週					【少】	---	---	【少】	【あり】	---
週										
第8週					【多】	【多】	---	【中】	---	【あり】

【AL（アクティブ・ラーニング）ポイント】
6.0ポイント

授業計画欄にALポイントが表示されます。

【ALポイント認定制度の用語集】

グループワーク

グループワークとは、集団に参加する者が、相互に影響し合う教育的過程であり、集団過程や集団における相互作用など、学修の集団的な側面を強調する学修形態を指します。

ディスカッション・ディベート

ディスカッションとは、集団成員の参加によって、課題について話し合いによる学修を指し、ディベートとは、二組の個人またはグループが一定のルールに従って一つの論題について論争することを指します。

フィールドワーク（実験・実習、演習を含む）

フィールドワークとは、ある目的を持ち、一定のフィールドにおいて観察・調査をしたり、資料を直接収集したりする調査活動を指します。ALポイント認定制度では、フィールドワークに、実験室等で行う実験・実習、演習を含む扱いとします。

プレゼンテーション

プレゼンテーションとは、学修者が他の人々を対象にして行われる言語的・身体的表現活動（模造紙や写真、OHPやビデオ、コンピューターなどのメディアを使った口頭発表のほかにも様々な形態がある）を指します。

振り返り

振り返りとは、授業内において、その授業の学修内容や学修方法、自分自身の学修状況などを想起し、ノートやワークシート（コメントシートなど）に記入などを行う活動を指します。

宿題

宿題とは、教員が学修者に対し、一定の学修、作業課題を正規の授業時間以外（授業外学修時間）で行わせ、その結果を定められた期日までに提出するように義務付けたものを指します。

【多】、【中】、【少】

【多】、【中】、【少】は、授業時間内におけるALが占める時間の割合を示す指標です。【多】は、授業時間の50%超、【中】は、授業時間の15%～50%、【少】は、授業時間の15%未満の割合でALが行われていることを表わしています。

〈参考資料〉
細谷俊夫ほか（編集代表）（1990）『新・教育学大事典第2巻』第一法規出版
日本教育社会学会（編）（1986）『新教育社会学辞典』東洋館出版社
日本教育工学会（編）（2000）『教育工学事典』実教出版
山崎英則・片上宗二（編）（2003）『教育用語辞典』ミネルヴァ書房
依田新（監修）（1977）『新・教育心理学事典』金子書房